

CELULAS



ピアザ

NPO法人多言語広場セルラス

世界に通じる人材の育成をめざして

2018
Vol. 9



CONTENTS

- P.2-3 セルラスの目指す世界
- P.4-5 教えて! あなたの取り組み セルラス フェスティバル2017
- P.6 セルラスの活動を楽しむ セルラス シニアメンバーだより
- P.7 お父さんの声 共に笑い、共に学ぶ場
世界の料理 作ってみよう! アラファトのピラオ@ウガンダ
- P.8 INFORMATION リートレに行こう!

セルラスの目指す世界



NPO法人 多言語広場CELULASは、多言語習得活動を基盤にして「世界に通じる人材育成」の環境作りを目的に、2002年5月、内閣府(現在は東京都所轄)の認証を得て設立しました。

◆多言語で開かれる世界 セルラスの多言語習得活動◆

「ことば」は人間存在であり、「ことば」は人間の成長に大きく係わる重要な要素です。
セルラスの目指す多言語習得活動は、単に外国語が話せることのみを目的とするのではなく、むしろ、語彙の多少に関わらず、色々な国の人々や言語に触れ、多言語・多文化を受容する能力を育むことにあります。1カ国語ずつを順番にしっかり学ぶのではなく、複数のことばに同時に触れて行きます。そもそも人間の言語には、人、文化、風俗、習慣等々が、もれなく付いています。国内外の人々と一緒に、様々な言語に触れていく(多言語活動を行う)ことで、それぞれの言語と文化、風俗、習慣などを通した価値観、幅広い視野、柔軟な思考などが身についていきます。そして活動の実践を通して、コミュニケーション力、多様性に対応する力、自分で考えて見つける力の育成を目指しています。



NPO法人 多言語広場
CELULAS(セルラス)
理事長 鈴木隆志

◆コミュニケーション力◆

多くの留学生や留学経験者にコミュニケーション力とは何か? という質問に対してほとんどの人が語彙数のみではないと答えます。そもそもコミュニケーション力とは「人と向き合う」姿勢を持つことが基本です。相手のことばを受け止め、自分の思いを伝え、互いに通じることばを見つけることです。人と直接会わずに手紙やE-mail、SNS等でコミュニケーションをとることもありますが、いずれにしても相手と真摯に向き合うことが大切なのです。

セルラスでは幼児から大人までが地域の会場に集まって、多言語のオリジナルストーリーにある様々な場面をロールプレイ(役割演技)します。風景・状況・場面・登場人物の性格等々をディスカッションしながら、想像力と創造力を膨らませ場面のイメージを共有し、自分の意思で積極的にストーリーの場面を体験します。この共同活動を通して、ことば(多言語)の成長と同時に、人との関係を見つけ創り出す力、相手のことばを理解する力、そして相手に自分の意思を伝える力も育まれて行くのです。

「人と向き合う」姿勢を育成することこそがコミュニケーション力を育てる基本であると考えています。



◆多様性に対応する力◆

違うものに興味を持ち、その違いから学ぼうとする姿勢が生まれながらにして備わっている人は少ないでしょう。むしろ違いを受け入れがたく、遠ざけたいと考える人の方が、多いのかもしれませんが。しかし、すでに現代や近未来では、ダイバーシティ(多様性の受容)が重要かつ不可欠な能力になってきます。持って生まれたものではない多様性への対応能力を育てるには、体験を重ねて培っていく環境が必要です。

国や人種や社会が多様であるということだけではなく、人そのものが、言語、文化、嗜好、政治的な信条、宗教等々、一人ひとりが多様な背景を持っています。セルラスは多言語習得活動を行いながら、ことば(多言語)に触れ、多様な背景を持った国内外の人々との交流を行い、また年代を超えた啓蒙事業を通して体験の領域を広げ、多様性への対応能力を培っていきます。



◆自分で考え見つける力◆

セルラスの多言語習得活動は、人間が家族や地域社会の言語環境の中で自然にことばを獲得して行くプロセスに学んでいます。

人が想像力と創造力を駆使し、自分の周りに起きているあらゆる現象を最大限に見つけているのは、0才から4~5才位の時期ではないでしょうか。その「自分で見つける」ことの本質に「ことば」があります。ことば(言語行為を含む)の発育は、人としての成長に欠かせない重要な役割を担っています。幼児期の圧倒的なことばの獲得は、自分で見つけ創り出しているのです。

私たちの活動には先生がいません。教え、教わるのではなく、幼児から大人までと一緒に「見つけ、受け取りあい、育みあって」ことばと、ことばの秩序を見つけて続けて行きます。日本の教育が、ともすると見つける力を育てるより、「覚えろ! 覚えろ!」を強調しているように思えてなりません。しかしながら、時代が大きく変化して行く中で、より自分で考え、見つける力は不可欠なものとなっています。

セルラスの多言語習得活動は、ことばと、ことばが持つ内側の秩序を見つけて続けることで、「自分で考えて見つける力」をも育むことにつながっているのです。

◆世界に通じる人材育成・求められる人材像◆

グローバル化・AI(人工知能・ロボット)・IOT(「モノ」のインターネット化)などの急速な進化により、第4次産業革命という、未だかつて人類が経験したことのないような社会の変化が始まっています。すでに、2030年頃には、ホワイトカラーの仕事の半分程度がAIに置き換わる可能性が高いと言われています。現在の学校教育での暗記や計算能力を高める学習は、AIの得意とする分野なのです。平成26年に中教審が出した21世紀型の教育では、従来型の学力、「大量の知識詰め込み、知識量のための学力」から、「思考力、判断力、表現力を含めた生きる力」へとあります。

将来、人材の評価基準は大きく変化して行くでしょう。更なる大きな時代の変革に立ち向かえるのは、人と一緒に、人と向き合い自分のことばで多様な世界を見つけていける人材です。多言語広場セルラスは、多言語習得活動を行いながら、コミュニケーション力、多様性への対応能力、自分で考え見つける力を育てあい、世界に、社会に貢献できる人材の育成に努めて行きます。



教えて! あなたの取り組み

セルラス フェスティバル 2017

※1 ORP : ワンマンロールプレイ

セルラスのストーリーを、イメージを持って多言語やジェスチャーを駆使して、一人で表現すること。

※2 RP:ロールプレイ

セルラスのストーリーを、役柄に分かれて仲間と一緒にイメージを膨らませて多言語で表現すること。

昨年12月、関東・関西で年に一度のフェスティバルが行われました。フェスティバルはJr.リーダーをはじめとする青少年が中心となってその企画、運営を行います。数回の準備会を経て、当日は司会、進行を立派にやり遂げました。フェスティバルは、1年の活動を締めくくる場でもあります。今年のテーマは「ことしは、ことばに、こだわろう」でした。多言語を人と一緒に、もっと楽に、もっと楽しく、今、自分の持つありったけの言葉で話そう!を合言葉に活動してきた成果を、フェスティバルで発表しあいました。フェスティバルに出る人も、出られない人も、全員で取り組んだ多言語チャレンジに、みなさんは、どんな風に家で取り組んでみましたか?ここでは、その一部を紹介したいと思います。今年多言語活動のヒントが見つけれられるかもしれませんよ♪



想像力と創造力が 楽しむコツ!

西九条P きょうちゃん

思春期でRPに消極的になって来た息子に、ノリ突っ込み満載のRPを私がやってみせたら、おもしろいと乗り気に。イメージが膨らむと、RPが面白くなることを再確認。



ことばは暗記より、 人から伝わるものが一番!

烏山木曜P りんちゃん(小2)

フェスティバルでの自己紹介で、話したいけど、当日までに覚えられないフレーズがあった。でも、同じグループの人が私の言いたかったことを話していたので、そのまんままねっこしてみたら、スルスルと言えた!



母の作戦!

難波P みきちゃん

子供が、ストーリーを多言語で言う事に一生懸命で、RPを楽しめてないと感じた私は、日常の中で、ストーリーの内容をジェスチャークイズにしてあそんでみた。すると、いつの間にか、一つの場面の多言語RPが出来ていた!



お母さんを手伝っていたら いつのまにか!

溝の口金曜P さよちゃん(小4)

お母さんが家で一生懸命中国語のORPを一人でやっていて、時々助けて!と言われて一緒にやってあげた。フェスティバル当日は自分がやろうと思っていたORPではなく、お母さんの場面のORPをやってしまった!だって、風景と場面がバッチリ入ってしまって、いつの間にかORPが出来るようになっていたから!



親子、絶好の多言語環境!

烏山水曜P はっちゃん

最近、自分しか家ではRP&シャドウイングをしていないが、5才の娘はいつもそばにいて私の姿を見ていた。そして、私が言えるようになったことばや、間違っている所はすぐに指摘してくる。親が家で取り組むことは、子供に多言語の環境を作る大切なポイントだと思う!



毎日1回だけ! 集中シャドウイングのススメ!

梅田P おくりん

いままで、なかなか続かなかったシャドウイング。フェスティバルの取り組みを機に、これを習慣化させて、毎日1回だけ!でもその1回に集中してシャドウイングをしたら大発見!習慣ができた!集中力が養えた!言葉も聞こえるようになった!



小さな頃に入った音がカムバック!? 苦手なことばが得意なことばに大変身!

梅丘P ブンちゃん(小5)

ピアザに年下の子が増えたので、ORPをちゃんとやらない!と思って、苦手なスペイン語をやってみた。そしたら、英語や韓国語より言えるようになって楽しかった。小さい頃からセルラスの環境にいたから、小さい頃からセルラスの環境にいたから、自然と自分の中に音が入っていたのだと思う。



全然出来ないうちからのORP

六甲P しょうだい(中1)

フェスティバルでORPする目標があったので、ピアザでも完璧にできないうちから勇気を出してORPをしていきました。最初は全然できなかったけど、毎回ピアザでORPをするうちに慣れていき、自然とできるようになりました。ORPを通じて多言語がどんどんしゃべれる感覚を持って、嬉しかったです!

毎日の練習で日に日に聞き取れるようになる

梅田P きくちゃん(小6)

最初、多言語プレゼンは自分にはできないと思っていましたが、必死に考え練習しました。また、ORPをするためにシャドウイングも宿題をやりながら聴いたりしてほぼ毎日やりました。フェスティバル前にピアザで発表して「すごいね」ってほめられたときはすごくうれしかったです!

ピアザのみんなでチャレンジ!

横浜P ありちゃん(小5)

私のピアザでは、自己紹介をする時は、一言、一文を増やしていこうと取り組んでいて、私は飼っている犬の事が言いたくて、ストーリーブックの中に言いたいフレーズを見つけて、みんなで練習して、みんなで言えるようになりました。私も本番はバッチリ、犬の名前や好きなことまで言えました!

人のORP見て自分もできた! 見る事ってすごく大事!

梅田P ちえちゃん

ピアザでRPや、特に子供たちがしてくれるORPがすごく印象的! 人のORPを見るのっておもしろいしとても影響を受ける。見て聴いて、そして自分で声に出しながら動いたら、いつのまにかできるようになった。

息子と一緒に成長出来た1年

明石P きーちゃん

息子が夏のアンニョンハセヨ交流に行こうと決めてから、家族やピアザと一緒に準備に取り組んだことで、親子共に成長できた。成果は、フェスティバルで、私はスペイン語、息子は韓国語でプレゼンができたことです!

飛び級でリートレに参加、この1年で大きく成長!

東高円寺P マキウノ

春に新6年生でリートレに参加した息子達は、この1年で青少年としての意識が高まり、フェスティバルに能動的に関わり、同じピアザの下級生の活躍を喜ぶほどになっていた。母が必死でエントリーした韓国語の自己紹介を覚えていると「覚えることより、伝えたいことを大切にすればいいよ」とアドバイスをくれた。

お風呂で息子と一緒にプレゼン練習

溝の口水曜P おとん

中国語の分かる妻の前で練習するとダメ出しが多いので、お風呂で息子と練習したのは良かった。息子はカラスの行水ですぐに出ていくけれど…。

息子と一緒に楽しむ方法

溝の口金曜P あゆみさん

毎晩お風呂の後に一緒にシャドウイング、そして出来たらカレンダーにシールを貼ることで、親子で習慣作りに取り組んだ。息子は気に入ったフレーズを口ずさむようになり、さらには、英語を言っているつもりが、気付かずにロシア語に変わっていることも。ストーリーブックに出てきた、聞きなれないことばと一緒に調べると、お話に興味を持ち、イメージが膨らんだ。

ひとりでやるORPだけど、ピアザのみんなで作ってみた!

永福町P みーさん

フェスティバルでORPをしようとして、ピアザでみんなで一緒にジェスチャーを沢山考えてやってみた。すると、ストーリーを思い出すと同時に、仲間の顔&ジェスチャーがまず頭に浮かび、そのあとにことばが出てきて、楽にORPが出来るようになった!

英語のプレゼン中に思わず韓国語がポロリ!

梅田P けいけい(中1)

昨年のサマーカーンプでは、夏の受け入れの話を韓国語でしたので、フェスティバルでは同じ話を英語でチャレンジしました。韓国語はコーディネーターに分からない所を聞いたりしていたけど、今回は一人の力でやってみようと思って、言いたい事を自分の中のありったけの英語でプレゼンを考えてやりました。でも、プレゼン中に思わず韓国語も出てきて面白かったです。



セルラスの活動を楽しむ

セルラスシニアメンバーだより

セルラスには様々な年代のメンバーが老若男女参加し、活動のベースとなる環境を作っています。今回は、人生の大先輩であるシニアメンバーに活動の楽しさを伝えて頂くとともに、昨年訪れた、セルラスの国際交流の一つである、日本語学校との定期的な交流の様子をご紹介します。日本人メンバーが授業に参加して、その時々様々なテーマで留学生と日本語で話をして、文化交流を兼ねた楽しいひと時を過ごします。今回は、イーストウエスト日本語学校へ交流に行ったシニアメンバーの感想と、日本語学校の先生、留学生のコメントをご紹介します。

セルラス入会のきっかけを教えてください

人の中にいるのが好きで、「人と一緒に」活動できるというところにとっても魅力を感じ、そして「70代の私でも参加できますか?」と、思いきって体験してみたのがきっかけで2010年に入会しました。前年のスイス旅行で、周りの人たちが多言語を言葉の壁なく気軽に話す様子を見て、憧れに近いものを感じた経験も、セルラスに目を留めたきっかけになりました。



土川敏子さん
(下北沢ピアザ)

セルラスで好きなプログラムは何ですか?

◎ワンデイトリッププログラム

以前、元看護師の台湾留学生とペアでとても親しくなれて楽しかったです。でも、私のプロフィールを見て、たくさん歩いて大丈夫かと心配になったと最初に言われました(笑)



台湾留学生と鎌倉に
行きました♪

セルラスの良さは何ですか?

色々な世代と交流できること。同年代のシニアだけでなく、子供や孫たち世代と同じ目線で一緒になって活動できるので刺激になります。自分を受け入れてくれて、互いに尊重し合える環境があることがとても嬉しく思います。親や大人は、つい、上から目線であれこれと子供に指示しがち。でも、この活動をしていると子供のほうが早く音をとらえて、その関係が逆転することがあるのがとても面白いです。



(向かって右、前から3列目が土川さん)

◎スーパーピアザ

大人だけのピアザで、若いお母さんと知り合えて、刺激にもなって、モチベーションが上がります。以前、理事長も一緒に、ジェスチャーを思いきりつけてやったロールプレイが面白かったです。一緒にロールプレイをすると、その人柄が分かるのも楽しいです。

コーラスや目の不自由な方のための音訳ボランティアもされている土川さん。「忙しくても、自分がやると決めてやっているから楽しいです! これからも皆さんと一緒に、マイペースでセルラスの活動を楽しんでいきます!!」と力強いお言葉、かっこいいですね!



日本語学校へ行かれたの感想は?

これまで日本語学校には数回伺っていますが、毎回楽しい時間を過ごしています。まだ日本語の日常会話が十分でない方もいらっしゃると思いますが、留学生同士で助け合ったり、身振りや、英単語を入れたりして、意思疎通が出来ました。自分の国を紹介する回では、日本と違って、交通網が貧しくて…と話す留学生に、日本も昔はそうだったのよ、という話の延長で、「アミさんが私達くらい頃の日本は?」と尋ねられましたので、「新幹線が出来る前の九州旅行は、蒸気機関車で一昼夜かかった」ことを話して、大盛り上がりでした!

イーストウエスト 日本語学校訪問

留学生より土川さんへ お礼の手紙

うちおと
ごんには
9月20日 たくさん話をしてくださってありがとうございました。55か
さんに私の事をしげいしました。楽しかったです。うちおと
私に日本語を教習してくださりました。ありがとうございました。
ありがとうございました。

学校法人 国際青年交流学園

イーストウエスト日本語学校 田代奈緒子先生

セルラスの方々には、イベントだけでなくビクターセッションという形でもイーストウエスト日本語学校に来ていただいています。先日は、当社が作成した日本語教材『できる日本語中級』第11課「ライフスタイル」の最後の活動の日で、あるニュースをもとに学生たちが、休日の過ごし方について、お話を伺う機会となりました。

聴き上手なセルラスの方々を前に、世代を超え、国を超え、普段だとなかなか聞けないお話もたくさんできたとのことで、学生達にとって、とても有意義で貴重な時間となりました。

お父さんの目線

「共に笑い、共に学ぶ場」

竹中 良(横浜土曜ピアザ) 公務員

家族構成：妻・長女(年中)・長男(2才)



「入会のきっかけ」

「共に笑い共に学ぶ家族」これは我が家のスローガンです。家族で楽しく笑って過ごすだけでなく、家族と一緒に学び成長したいと考えてきました。4歳の娘と2歳の息子がいるのですが、子供に勉強しろというのではなく、親が頑張る姿を見ながら子供も自然と学ぶようになればいいなと思ったのです。しかし、子供がまだ小さく、なかなか家族皆で学ぶ場はありません。そんな中、妻がセルラスを見つけ、講演会を聞き、体験ができるオープンセルラスに試しに行ってみたのです。そこで私達が見たのは、子供たちが張り切って参加し、英語や英語以外の言葉で自己紹介し、多言語でゲームをする姿、そして保護者の方々も同様に張り切って参加している姿でした。ここなら家族皆で学ぶことができるとはと考えると、平成29年6月に入会しました。

「入会当初は」

実際入会したものの、当初は苦勞しました。毎週のピアザは、私が思うにアウトプットの場ですが、

私は7月に部署が異動となって生活のリズムが変わり準備に時間を割けませんでした。ちょうどその時期に妻が第3子を授かりました。

初期のころは体調が優れず、ピアザも休みがちで、娘もまだ4歳で私が子供二人を連れて行くこととして母親が休むとピアザはつまらないから行きたくないと言いつつ、セルラスへの参加は時期尚早だったかとも思いました。しかしその後、私も昔タイに駐在していた経験を活かしてタイ語をピアザのメンバーで紹介するなど、工夫して参加するようにし、妻も体調が回復したほか、妻が娘のために、ピアザのストーリーブックに出てくるお話を絵本にして、子供たちがその場面をイメージしやすく工夫したりし、娘も少しずつやる気を出してきました。

「留学生との触れ合いで」

娘にとって、人前で何かを発表する機会はなかなかありませんが、ピアザではコーディネーターが積極的に上の子に発表を促してくださって、恥ずかしがりながらも、娘が日本語ですが発表しているのを見ると、成長を感じます。また、ワンプロ1日ホームビジットで中国の張さんを受け入れました。私達夫婦と同年代で来日2年目の北京出身の男性です。会う前はどんな方かと不安もありましたが、物腰が柔らかく多趣味な方で、趣味の旅行の話から



張さん(右)と食卓を囲んで

仕事の話、中国の生活など、日本語と英語を使って会話も弾み、一気に緊張がほぐれました。昼食の買い出しと一緒にスーパーに行った時には、中国の家庭料理を作ると提案してくれ、フーターズというズッキーニ入りのチヂミのようなものを作ってくれました。他に、食べたことがなかったという手巻き寿司を用意し、みんなでワイワイ頂きました。

「私とセルラス」

私自身、毎回のピアザではドキドキしながら何かしらの発表をしています。そうすることが、子供たちにも「お父さん頑張っているな」と思ってもらって良い刺激になるかなと思えますし、私自身、いずれ海外に転勤するときに向けた準備でもあるわけです。受験勉強の時の外国語の勉強方法からなかなか脱せずにはいましたが、教えられたことを覚えるのではなく、セルラスの方法でことばをつかめるようになってきたと思います。

今後、私達家族は、視野を広く持つために、ホームステイの受け入れをしたり、逆にホームステイへ行きたいと思っています。そのためには、セルラスの活動を通じて、多言語そのものを学ぶだけでなく、見ず知らずの人の前でも恥ずかしがらずに話をするのが大事だと思います。なので、私や妻が率先して取り組み、子供たちも自然とそうした活動になじんでいけるようになるのを目指しています。

作ってみよう! アラファトのピラオ@ウガンダ!

<<材料>> (4人分)

ピラオ

- 米 3合
- 玉ねぎ 1個
- ピーマン 2個
- にんじん 小1本
- ニンニク ホール1個
- 鶏もも肉 1枚

ポテト

- トマト缶 1缶
- ブラックペッパー
- クミン
- シナモン
- じゃがいも
- パクチー
- ニンニク
- しょうが

ワンプロ参加後、横浜・中野ピアザに参加してくれました。現在都城高専で勉強しています。



●ピラオ

- ①玉ねぎはスライス、ニンニク・ピーマンはみじん切りにする。
- ②玉ねぎを大さじ1(分量外)のサラダ油できつね色まで炒めニンニクを入れさらに炒める。
- ③こんがり茶色になったらピーマンを入れる。
- ④さいの目切りにした鶏肉に軽く塩こしょうしてフライパンに加え炒める。
- ⑤そぎ切りにした人参とトマト缶のトマトだけを加える。
- ⑥土鍋にトマト缶のジュースと水、フライパンの中身を入れスパイスで味を調える。
- ⑦コメは洗わずそのまま土鍋へ。ひとまぜして、最初中火、沸騰したら弱火にし炊き上げる。

●付け合せのポテトフライ

鍋に、水、パクチー、ざく切りのニンニク、輪切りのしょうが、皮をむいたじゃがいもを入れ、固めに茹でる。くし切りにして、水で溶いたカレー粉&ガラムマサラを絡め、からりと揚げる。



INFORMATION

リーダーズトレーニング キャンプ2018!

日時:2018.3.29~3.31
場所:静岡三ヶ日青年の家
対象者:新中1~大学生
(新小6生飛び級制度有)



「リトレへ行こう！」 セルラスJr.リーダー 中西七海(高1)

リトレの季節が近づいてきました! みんなで電車を作り継いで目的地を目指します。ちょっと大変だけど、これもリトレの楽しみの一つです。

私は毎回、「今年はどんなリトレになるのかなあ」とリトレが近づくワクワクしてきます。毎年違った発見があるこのキャンプ、今年は特に「ことば」についてみんなできんなことを見つけていきたいです。このキャンプで見つけたこと、成長できた経験は宝物になるはず。どんな小さな発見でもみんなで共有できたらなと思っています。まだリトレに対して不安があったり、行くことをためらっている人もいます。私もリトレに初めて行く時はとても緊張して不安でした。

でも、みんなにこれだけは知っていて欲しいのは、リトレは、みんなに平等に成長できるチャンスを与えてくれるものだということです。一歩踏み出せば新しい自分に出会えるかもしれないってことです。自分の前にある壁をちょっと越えてみるだけで、見える世界はぐんと広がるはず。初めての人も、毎年参加している人も、新しい気持ちで一つでも目標を持ってこのキャンプに参加できれば、きっと成長して帰ることができると思います。まずは準備からみんなで楽しんで、少しでも目標達成できるよう頑張りましょう!

みんなで新しい発見、成長ができることを今から楽しみにしています!!



セルラスの
最前線が分かる!

セミナー2018

関東・関西ともに4月開催予定

※詳細は決定次第お知らせします。詳しくはお問い合わせ下さい



= 編集後記 =

One year went by in the flash!

2017年もあっという間に過ぎ、新たな年、2018年スタートしています。

セルラスでは、昨年は酉年ということもあり、「ことしはことばにこだわろう!」ということで、「こっここ運動」を展開してきました。

ベースとなるピアザ活動、リーダーズトレーニングキャンプや青少年サマーキャンプ、多言語フォーラムなどのイベントにおいても、テーマには必ず「多言語を口にしやすい言語場づくり」を掲げて取り組んできました。そして1年を振り返ってみると少しずつ、その環境ができてきたように思えます。

また、これまでの機関紙を見直すと、それぞれのイベントも少しずつではありますが、回を重ねるごとに進化しているのがわかりますし、いろいろな体験を積んでいる子供たちの笑顔には、AIに負けない力も見える気がします。

さあ! 戌年の2018年は、この環境を、各ピアザでどう広げていけるかがテーマです!

ますます楽しい1年、**ワン** for all! All for **ワン**!!
ワンダフルな年にいたしましょう。

広報プロジェクトチーム一同

寄稿文&4コマまんが随時募集中!

(詳細は、本部事務局広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。

詳しくはセルラス ホームページをご覧ください!

メルマガも随時配信中!



セルラス 検索



発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュース付対-1038

TEL: 03-5333-8202 (代表) FAX:03-5333-8203

関西事務所

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX: 06-7493-7931 (代表)

URL: <http://www.celulas.or.jp>

e-mail: info@celulas.or.jp